

大好き図書館！ 夏休みイベント

テーマは「未来」 期間：7月29日(金)～8月11日(祝)

◆図書館司書になれる!? 「ほしい」情報の探し方 ネットを使用するなど、情報を探すいろいろな「ワザ」を紹介しします。

◆トショカンでBINGO! ミッション! 課題が書かれたBINGO。3つクリアで景品をプレゼントしします。

◆2112年、未来へGo! ドラえもん誕生の年にどんな世界になっているかを想像して、絵を描いてみませんか。

◆エコに楽しく! リサイクル工作 家庭の資源ゴミ(新聞紙、箱、ダンボール等)で作れる工作の見本を展示し、本を借りた人に素材(資源)を提供しします。

おいでよ! おはなし会

□とき
7月9日(土)
午後3時～
7月23日(土)
午前11時～
□ところ
児童コーナー

7月の休館日(○…休館日)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

開館時間やサービスの内容は状況によって変更になる場合があります。詳細は、右記二次元コードから確認、又は図書館にお問い合わせください。



来館者の皆さんへお願い

- ・自宅で検温し、熱などの風邪症状がある場合は来館をご遠慮ください。
- ・手指の消毒、マスクの着用、咳エチケットで飛沫感染防止にご配慮ください。

新刊情報

こちらムシムシ新聞社
～ギタイは天敵がつくる?～
三輪一雄/作・絵
偕成社



ムシムシ新聞社の自然科学部記者、七星あまみちくんは、読者からの質問に答える係である。今回の質問は、「ギタイの虫について教えてください。」というもの。早速ギタイの虫の取材へ! ギタイの種類や、恐ろしげなギタイ、一人ギタイのオンパレードのアゲハチョウなど、なぜここまでギタイするのか。キーとなることばは、「進化」だった。ギタイの不思議をわかりやすくユーモラスなイラストで説いていく知識絵本。

手話で話そう

今月の手話④ 「元気」「大丈夫」

今回の紹介者は佐藤 猛さんです。

元気

両肘を張り、両手拳を同時に上下させます。

生き生きと活発な様子で、「頑張る」の意味も表しています。

動画も公開しています。一緒にやってみましょう!
※手話表現は、地域や年代によって多少異なる場合があります。



大丈夫

右手の指先を左胸から右胸(左手の場合は右胸から左胸)の順に当てます。

大丈夫と胸を張る様子で、「大丈夫」「できる」などの意味を表しています。

☎社会福祉課障害福祉係 ☎8290 (市役所1階)

世界遺産登録を目指す「咸宜園」 -近世日本の教育遺産として-

淡窓・咸宜園と交流のあった文人・墨客たち⑮

廣瀬淡窓が幼少のころ関係のあった人々(1) ~松下西洋~

園世界遺産推進室(咸宜園教育研究センター内) ☎0268



廣瀬淡窓は、七歳の頃に父から「四書(※1)」などの素読(※2)を習い始めたのを皮切りに、長福寺の法幢上人や頼宮四極などに入門して「詩経」「文選」などを学びました。十歳の頃からは松下西洋に就いて漢詩文を本格的に習い始め、目覚ましい才能を発揮し始めました。

松下西洋は、久留米藩の藩医の養子で、才子(※3)として聞こえ、藩校修道館の儒官などを務めています。寛政二年(1790)に故あって妻子を残し出奔して日田に来て塾を開き、代官の師範などをしています。やがて廣瀬家の南家土蔵に引越してきたのを機に、十歳の淡窓は入門して弟子となりました。時に西洋は二十八歳でした。その勉学について「予既に松下先生の門に入り始めて詩を学ぶ。一日に七絶一首を以て課とす。遂に七絶二百余首を得たり。其の後に至つて五律を学びたり。此の年また文を学んで訳文一首を作れり。此の時、他方より往来する弟子十人程あり、因て其の人と会読(※4)と云ふことをなす」と、本格的な漢詩文の勉学の様子を語っています。淡窓が十三歳の寛政六年に、西洋は佐伯藩主の毛利高標に招かれて藩校四教堂の学問師範となりました。「松下、我が郷に在ること前後五年、予が随従せし間は三年余なり。その間一日も親炙(※5)せざるることなし。是に於て師を失へり」と、淡窓は三年間毎日随従して熱心に学んだことを回想しています。西洋こそ、淡窓の学問の基礎を創った



▲四教堂の扁額が架かる佐伯小学校校門
提供：佐伯市教育委員会

- ※1 四書 儒教の最も基礎的な四種の書物『大学』『中庸』『論語』『孟子』をいう。
 - ※2 素読 書物、特に漢籍の意味・内容を考えることなく、ただ文字だけを音読すること。
 - ※3 才子 才ある人。才知の優れた人。優れた才能を持っている人。
 - ※4 会読 何人かの人が集まって読書し、それについて話し合ったりすること。
 - ※5 親炙 親しく接してその感化を受けること。
- 恩師と言える人物です。なお淡窓は、十四歳の寛政七年、佐伯の西洋の元を訪れて四月から八月までの約四か月間遊学しています。西洋は、文化七年(1810)病気のため四十七歳で没しました。

食生活改善推進員さんのおすすめレシピ
カラフルサイダー寒天

ジュースや果物を変えると、様々な色や味が楽しめます。



<作り方>

- ①サイダーとグレープジュースは常温に戻しておく。
- ②鍋に水と粉寒天を入れ、中火にかけてよく混ぜる。沸騰したら弱火にし、砂糖を加えて1分程煮る。
- ③濡れ布巾の上に鍋を置いて粗熱をとり、サイダーを加えてよく混ぜ、冷蔵庫で冷やし固める。
- ④同様にグレープ寒天を作り、冷蔵庫で冷やし固める。
- ⑤それぞれの寒天が固まったら、泡だて器でつぶす。
- ⑥グレープ寒天、缶詰のみかん、サイダー寒天の順に器に盛りつける。

■材料■ (4人分)

- 【サイダー寒天】 ・水 100ml ・粉寒天 2g ・砂糖 大さじ1/2 ・サイダー 125ml
- 【グレープ寒天】 ・水 100ml ・粉寒天 2g ・砂糖 大さじ1/2 ・グレープジュース 125ml
- 【飾り付け】 ・缶詰のみかんなど 適宜

☎健康保険課健康支援係 ☎3000 (ウェルピア)